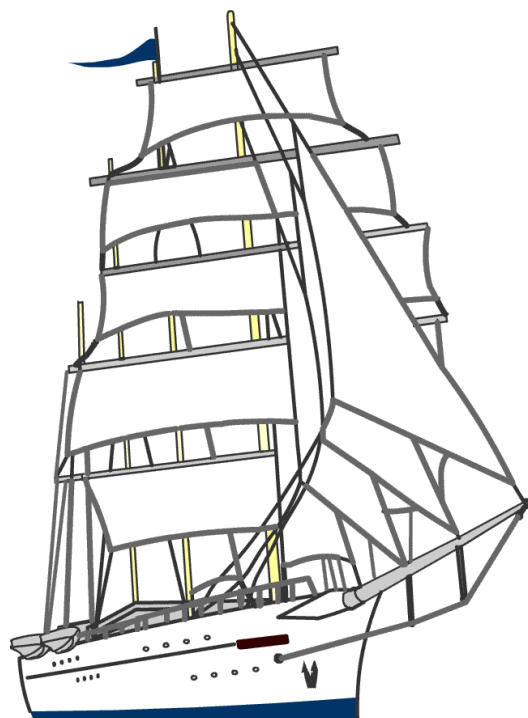


令和6年度[令和7年入試]

# 第1回 進路説明会



開会の言葉

- 1 学校長挨拶
- 2 学年主任挨拶
- 3 進路について
  - (1) 進学について
  - (2) 就職について
- 4 学習について

閉会の言葉

酒々井町立酒々井中学校

## 目 次

|   |                         |      |
|---|-------------------------|------|
| 1 | 進路選択にあたって・・・・・・・・・・     | 1    |
| 2 | 1年間の主な予定・・・・・・・・・・      | 2    |
| 3 | 中学校卒業後の進路について・・・・・・・・   | 3    |
| 4 | 上級学校の種類・・・・・・・・・・       | 4    |
| 5 | 高等学校の選び方・・・・・・・・・・      | 5    |
| 6 | 受検(験)制度及び日程について・・・・・・・・ | 6, 7 |
| 7 | 学校説明会・体験入学について・・・・・・・・  | 8    |
| 8 | 就職について・・・・・・・・・・        | 9    |
| 9 | 学習について・・・・・・・・・・        | 10   |

### 《 資 料 》

|   |                       |        |
|---|-----------------------|--------|
| ① | 令和5年度 卒業生の進路先・・・・・・・・ | 11     |
| ② | 学区につて・・・・・・・・・・       | 12, 13 |
| ③ | 調査書・・・・・・・・・・         | 14     |
| ④ | 高等学校就学支援制度・・・・・・・・    | 15～21  |

## 1 進路選択にあたって

「進路選択」は「人生の方向の選択」です。どのような職業に就き、どのように社会で生きていきたいのか、どのような生きがいを得たいのか、その選択の第一歩であるといえます。学校選択はゴールではなく、一人一人の行く手に様々な道が枝分かれしています。選べるのはその中の一つだけです。だからこそ、将来まで見通した進路選択が大切です。

個人の能力と適正・希望をふまえて、多くの進路に関する情報を入手し、後悔をしない進路選択をしたいものです。

### ◎保護者の皆様へ

#### 1 進路選択は、子どもが自分の夢をかなえるための第一歩です。

自分が将来何をしたいのか、どんな職業に就きたいのか、それぞれに夢があることでしょう。高校入試はそれを具現化させるための第一歩です。そして、人生最初の試練であり、未知の世界への不安もあるはずです。今回の選択がどのように将来につながるのか、アドバイスをしてあげてください。

#### 2 進路決定は本人が行い、親や教師はアドバイザーです。

中学生の段階では、自分の将来の職業について見通しをもつということは、なかなか難しいことです。だからこそ、親や教師のアドバイスが必要だといえます。子どもがどのような性格なのか、何に興味・関心があるのか、一番よく知っている親からのアドバイスは大いに参考になります。また、親が一方的に意見や考えを押し付けるのではなく、あくまでも子どもが自分の将来を考えるように、親はアドバイザーとしての立場を貫くことが大切です。

#### 3 最終的な進路決定は、子どもの意志を尊重しましょう。

親子で進路について話し合うことが大原則ですが、最終的な進路決定は子ども自身が行うことが大切です。納得しないままに決められた進路先は「親が押し付けた進路」という理由で、進学後に進路変更につながることもあります。自分で納得して選んだ進路は、動機や目的がはっきりしており、頑張れることが多いようです。

#### 4 親も入試について勉強しましょう。

少子化が進む中、どの高校も特色・独自性を強く打ち出しています。入試制度も大きく変化・複雑化しており、学校説明会や体験入学がとても盛んになっています。高校入試制度やWEBでの出願など難しいことが多いですが、学校から配布されるプリントには必ず目を通して頂き、高校の説明会などにも積極的に参加して、最新の情報や資料を入手してください。

#### 5 普段から進路に関して親子で会話をもちましょう。

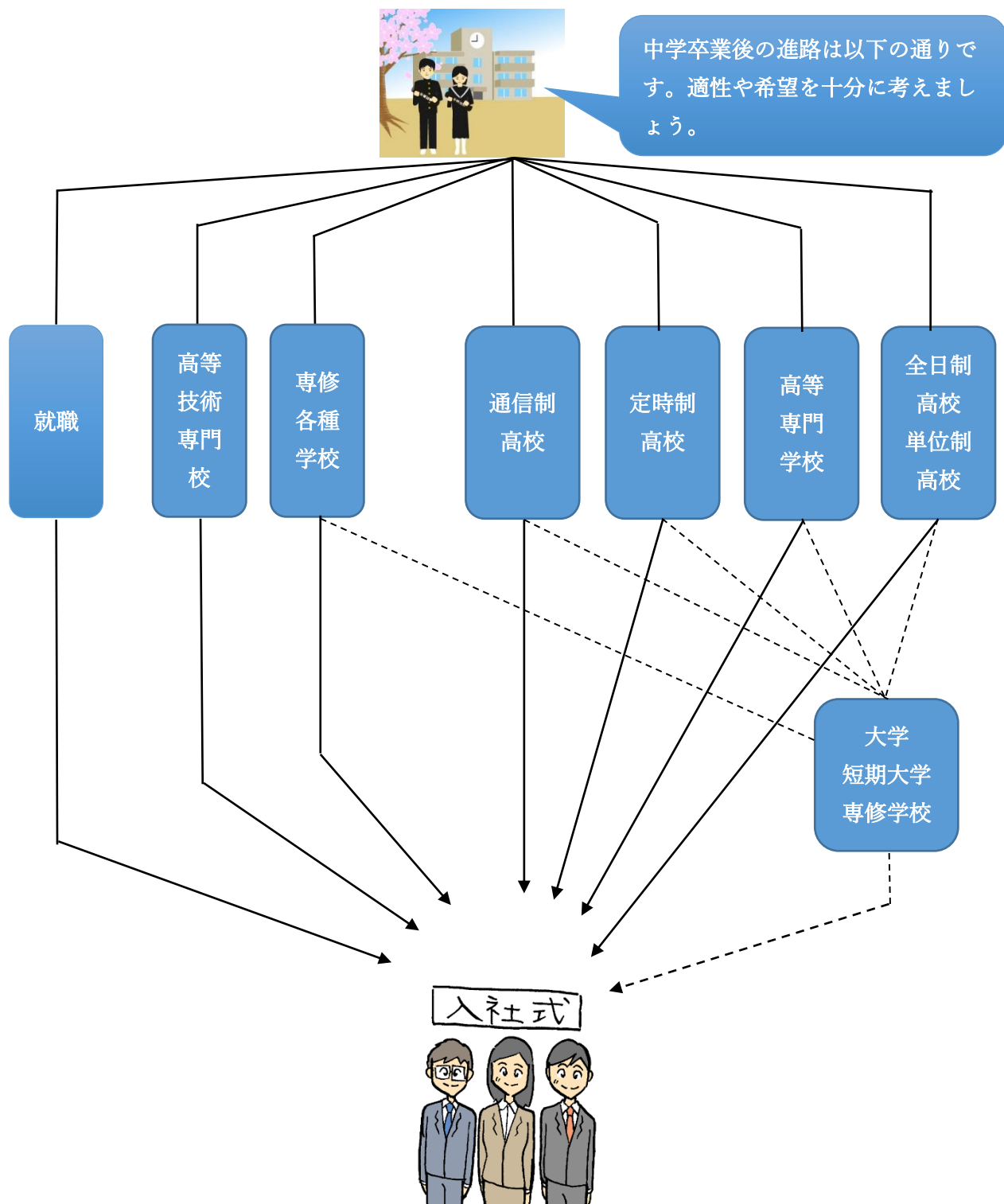
12月に担任と三者面談があり、そこで最終的な進路決定をすることになります。今のうちから少しずつ親子で話し合っていく必要があります。子どもと保護者で進路希望に食い違いが生じることもありますが、子どもがなぜその学校を希望しているのかをよく聞き、考えの足りない部分をアドバイスして、お互いが納得できるまで話し合うことが大切です。また、経済的なことも進路決定に大きく関係してきます。学費や様々な支援制度、特待制度などについても、よく調べておいてください。

## 2 1年間の主な予定

| 月  | テスト関係  | 三者面談など                                      | 公立高校   | 私立高校                   | 各種<br>学校 | 就職       |
|----|--|---|--|------------------------|----------|----------|
| 4  |  |   |  |                        |          |          |
| 5  | 第1回実力テスト(14日)<br>第1回英語検定(24日)                | 第1回進路説明会(23日)                               |  |                        |          |          |
| 6  | 第1回漢字検定(14日)<br>第1回定期テスト(5日・6日)              | 進路希望調査①<br>第2回進路説明会(26日)<br>三者面談(28日～11/5日) | 体験入学申し込み   |                        |          |          |
| 7  |  | 三者面談(1日～5日)                                 | 体験入学   | 体験入学                   |          |          |
| 8  |  |   | 体験入学   | 体験入学                   | 体験<br>入学 |          |
| 9  | 第2回定期テスト(11・12日)<br>第2回実力テスト(25日)            | 進路希望調査②                                     | 体験入学   | 体験入学                   | 体験<br>入学 | 適性<br>検査 |
| 10 | 第3回実力テスト(25日)<br>第2回英語検定(4日)<br>第2回漢字検定(18日) | 第3回進路説明会(2日)<br>二者面談(24日～31日)               | 学校説明会  | 学校説明会                  |          | 職業<br>相談 |
| 11 | 第3回定期テスト(6日・7日)                              | 二者面談(1日)<br>進路希望調査③                         | 学校説明会  | 学校説明会<br>私立受験校の決定      |          |          |
| 12 | 第4回実力テスト(12日)                                | 三者面談(2日～10日)                                | 公立受検校の決定   | 出願等(1日～)<br>入試相談(15日～) | 入試<br>開始 | 職場<br>見学 |
| 1  |  | 面接・作文練習<br>必要に応じて<br>二者・三者面談                |  | 前期入試(中旬)<br>後期入試(下旬)   |          | 入社<br>試験 |
| 2  | 県標準学力テスト(10日)                                | 面接・作文練習<br>必要に応じて<br>二者・三者面談                | 出願(4日～6日)<br>志願・希望変更(12日・13日)<br>学力検査(18日・19日)<br>※追検査受付(21日・25日)<br>※追検査(27日) |                        |          | 入社<br>試験 |
| 3  |  | 必要に応じて<br>二者・三者面談                           | 発表(4日)<br>・二次募集願書提出(7日)<br>・志願・希望変更(8日)<br>・学力検査(10日)<br>・発表(14日)              | 二次募集                   |          |          |

※日程については変更する場合がありますので、ご了承ください。

### 3 中学校卒業後の進路について



## 4 上級学校の種類

### (1) 高等学校

#### ① 設置者による分類

・国立（国立大学付属高等学校） ・公立（県立・市立） ・私立があります。

#### ② 課程による分類

##### 全日制課程

昼間に授業を受ける形の高校で、公立と私立があります。公立高校の普通科には学区制限があり、その隣接する学区（酒々井中学校は第4学区に所属）にある高校の受検が可能です。尚、普通科以外（総合学科、専門学科）と女子高、定時制及び通信制の課程には、志願に関する学区制限はありません。私立高校は県内のみならず、県外のどの高校も受験できます。

##### 定時制課程

働きながら勉学をしたい人のために定時制課程（夜間課程と三部制）があります。1日の授業時間は通常4時間で、卒業までに4年間かかります。卒業の資格は全日制と全く同じです。三部制の学校は午前部、午後部、夜間部に分かれており、他部の授業も併せて1日6時間履修することができ、3年間でも卒業することができます。

##### 通信制課程

高校の用意する教材で各自学習を行い、レポートを提出します。スクーリングに出席し、必要な単位を修得することで卒業できます。公立の通信制高校は千葉大宮高等学校だけです。私立には、通常の通信制高校とサポート校（登校して授業を受け、提携している通信制高校の卒業資格を取る）があります。また高等専修学校でも、通信制高校と連携し、高校卒業資格が取れるところがあります。

#### ③ 学科による分類 <普通科の他、次のような専門学科があります>

- ・工業（機械、電気、建築など） ・農業（農業、園芸など） ・商業（商業、情報処理など）
- ・水産業（漁業、水産製造など） ・家庭（家政、調理国際、服飾デザインなど）
- ・その他（理数、国際教養、体育、看護など）

また、様々な分野の授業から選択して履修する、**総合学科**があります。

### (2) 高等専門学校（高専）

高等学校と短期大学を結び付けた学校と考えればわかりやすく、就業年数は5年です。県内には工業系の国立木更津高等専門学校があります。短大卒業と同じ資格が与えられ、また大学3年生への編入試験も受けることができます。

### (3) 県立高等技術専門学校（技専）

職業人の養成を目的とし、技能・技術の習得に比重を置いている学校です。履修期間は数か月～1年間です。授業料は無料で、公的な資格取得など様々な特典があります。

### (4) 専修・各種学校

- ① 専修学校 職業や生活に必要な能力を養成や、教養の向上を図ることを目的とした学校で、中学卒業後に進学できるのは「高等課程」と「一般課程」です。
- ② 各種学校 「家政」「理・美容」「調理師」などがあります。

## 5 高等学校の選び方

### 志望校選択の視点

#### (1) 自分の将来の方向について考えよう

「自分が将来、何をしたいのか。そのためにはどのような進路があるのか」学校選びはここから始まります。

- 自分は何が得意で、何を伸ばしたいのか。      ○高校か、高校以外の上級学校か。
- 学科は普通科か専門学科なのか。
- 高校卒業後、大学まで進学したいのか、専門学校に進むのか。または就職するのか。
- 将来どんな職業に就きたいのか、どんな人生を送りたいのか。

#### (2) 高校でやりたいことは何かを考えよう

高校は入学することが目的ではなく、入学して何に力を入れたいのかが大切です。高校の3年間でどのようなことをしたいのかを考えてみてください。

- 大学進学のために勉強をみっちりやりたい。      ○部活動に力を入れたい。
- 生徒会活動や学校行事などを充実させたい。      ○将来のため、資格を取りたい。
- 留学など、特別なことに挑戦したい。

#### (3) 自分と学校との相性を考えよう

各学校には、それぞれ「教育方針」や「校風」といった特色があります。

- 授業の選択など自主性が大切な学校か、懇切丁寧に面倒を見てくれる学校か。
- 生徒の自覚と責任に任せる学校か、生活指導やしつけに力を入れている学校か。
- 大規模校か、中・小規模校か。

特に私立高校は、それぞれ建学の精神や教育方針を持っており、大学の付属校や、宗教を基礎に置いた教育を行っている学校など、様々です。

#### (4) 公立高校か、私立高校か

公立高校には、県が設立した「県立高校」と市が設立した「市立高校」があります。普通科は受検できる学区が決められており、第4学区（酒々井町）と隣接する学区の公立高校が受検できます。専門学科（普通科以外の学科）、総合高校、県内の女子高には学区はありません。

私立高校には、学区はありません。入試日が重ならない限り、何校でも受験できます。設置者の建学の精神、教育思想などにより、特色を持った教育が行われています。

### 希望校の決定

進路に関して心配なことや不安なことなど、何でも気軽に担任または学年の先生方に相談してください。担任の先生は、学年会議や進路指導委員会に諮りながら、本人の学力・能力や特性、将来の希望などを考え合わせながらアドバイスします。そして、最終的には本人にふさわしい学校を、本人と保護者との話し合いで決定するサポートをしていきます。

## 6 受検（験）の制度及び日程について

### (1) 公立高等学校

#### <一般入学者選抜>

- 入学願書提出 2/4(火)～6(木)
- 志願・希望変更 2/12(水)・13(木)

願書提出後1度に限り、高校や学科を変更することができます。

手続きは保護者の方をお願いしています。

- 学力検査 2/18(火)・19(水)
- 追検査受付 2/21(金)・25(火)
- 追検査 2/27(木)

検査日当日にインフルエンザ等、やむを得ない理由により本検査をすべて受検することができなかった者を対象に1日で行います。

- 入学許可候補者発表 3/4(火)

#### <2次募集>

一般入学者選抜で定員に達しなかった高等学校が実施します。

もちろん一般入学者選抜に合格している場合は受検できません。また、私立高校に合格している場合は、受験できない場合もあります。詳細は各校にご確認ください。

- 入学願書提出 3/7(金)
- 志願・希望変更 3/10(月)

願書提出後1度に限り、高校や学科を変更することができます。手続きは保護者の方をお願いしています。

- 検査 3/12(水)
- 入学許可候補者発表 3/14(金)

#### <定時制の課程の追加募集>

- 検査 3/26(水)・27(木)

#### ◇出願手続きについて

公立高校の願書は、中学校で用意します。出願は生徒が行います。



## (2) 私立高等学校

※受験日が重ならなければ、複数校の受験が可能です。

※私立高校は、特色ある教育方針や校風をもっているため、学校説明会や「学校案内」で事前に調べておく必要があります。

### ① 専願（単願）

希望する私立高校が第1希望で、合格したら必ず入学することが条件です。合格基準は併願よりも優遇されます。専願推薦（部活動や学校長など）は、学力や特別活動、部活動などが高校側の示した基準に達しており、進路指導委員会（学校長）の承認を得た場合に受験ができます。専願受験といえども合格が保証されているわけではなく、第2希望校を準備しておく必要はあります。

### ② 併願（一般併願・併願推薦）

希望する私立高校が第2希望以下の高校です。併願推薦は、高校が示した学力基準や条件に達していれば受験ができます。基準に達していない場合は一般の併願受験になります。

合格した場合、一般的に入学金の一部（0～50,000円と学校ごとに異なります）を納入することで、公立高校の発表まで入学手続きを伸ばすことができます。併願推薦を行う高校の中には、「合格したら必ず延納手続きをすること」という条件（**第2希望制度**）がある学校があります。十分な確認が必要です。

### ◇出願手続きについて

私立高校の願書（募集要項）は、各自（ご家庭）で取り寄せてください。とはいっても、ほとんどの私立高校は手続きがWEB（パソコンやスマートフォンから）での申し込みになっています。出願は生徒が行います。

### 私立高校の優遇制度「入試相談」について

私立高校では、事前に中学校側と通知表の成績等にもとづいて入試の相談を行う制度「入試相談」があります。入試相談は第1希望の受験者だけでなく、併願受験者についても行われる場合があります。※私立高校の中には、入試相談がない高校もあります。

入試相談とは、高校側が示す成績（通知表の5段階評価）や欠席日数などの基準をもとに、その受験者が推薦受験の資格があるか、または推薦でなくても専願・併願など受験者に対して高校側で合格の目安や可能性を示すものです。入試相談では、推薦・専願・併願などの受け方で、ある一定の基準が示され、その基準に達していると、入試の際に優遇措置が得られ合否判定で有利になります。ただし、あくまで合格の可能性ですので、当日の学科試験や面接次第では不合格になってしまう場合もあります。

この入試相談、千葉県では12月15日から始まります。書類作成に時間がかかりますので、12月の三者面談で受験校を決定したいと考えています。

## 7 学校説明会・体験入学について

- 高校の雰囲気・様子を知るために、学校説明会や体験入学はとても有効な手立てです。学校までの通学方法や時間など、実際に経験してみないとわからないことを体験できるからです。自分の受験および進学する可能性のある高校については、必ず、学校説明会や体験入学に参加するようにしてください。
- 進路学習室に学校説明会や体験入学の実施要項を掲示しています。しかし、すべての高校の実施要項が酒々井中学校に届くわけではないので、各自で高校のホームページなどを定期的に確認するようにしましょう。また、申込期限を厳守し、早めに予約等の申し込みを行いましょう。期限内であっても、定員になった時点で申し込みができなくなります。
- 学校説明会や体験入学をインターネットで申し込む場合、保護者と生徒が一緒に確認しながら行い、連絡先のメールアドレスなどは保護者のものを登録してください。特に、Web 出願を行っている私立高校は、入試の際の手続きや連絡もこちらに登録してあるもので行うことが多いからです。実際に、生徒のアドレスで登録したために保護者が延納手続きに気づかず、手続きができなかったケースもあります。
- 学校説明会や体験入学を申し込んでおきながら、当日、安易な理由で欠席することはできません。欠席する場合は、高校と中学校に欠席連絡をすることとなりますので、日程をよく確認してから申し込んでください。なお、欠席連絡はどちらも保護者が行ってください。

中学校では生徒がいつ、どの時間にどこの高校へ行っているのかを把握するため、高校説明会や体験入学の予約をした場合は、以下の手順で報告してください。

### ① 高校のホームページで自らが予約した場合

- ・休み時間または昼休みに chrome book を使って、「クラスルーム」内の「酒々井中学校3学年」より、「学校説明会・体験入学参加申込みフォーム」の URL をタップし、必要事項を入力して送信してください。

### ② 中学校とりまとめの高校説明会や体験入学を希望する場合

- ・進路学習室にある「高校説明会、体験入学 申込書」を記入し、担任の先生に提出してください。
- ・提出後、①と同様に chrome book を使って、「クラスルーム」内の「酒々井中学校3学年」より、「学校説明会・体験入学参加申込みフォーム」より送信してください。

- 高校説明会や体験入学の予約をしたら、「学校説明会・体験入学等参加確認表」に記入し、担任の先生に提出して確認してもらいます。

※中学校とりまとめの場合も同様です。（日程が確定していない場合は、確定後に記入）

◎説明会や体験が急遽変更になる場合もあります、高校の HP を定期的に確認しましょう。

## 8 就職について

中卒の求人は極めて少数です。本人の適性或希望に合った就職の斡旋が困難であり、高卒であれば桁違いに多くの求人があるため、職安でも上級学校への進学を勧めています。就職を希望する場合も、進学という選択肢をもう一度検討してみてください。

### (1) 就職及び職業決定の手続き

職業を決める際には、生徒本人の適性・性格に合ったところを選ぶ必要があります。しかし15歳でその子の適性を見極めることは、非常に困難なことです。そこで、「職業適性検査」や「レディネステスト」などを行い、資料の一つとして考えていきたいと思います。

### (2) 就職先決定までの手順

- ① 職業安定所（以下職安）では、4月に各学校の就職希望者を調査して、求職者の希望からその年の方針を立てます。そして一覧表を作り、各学校に配布します。
- ② 職業相談表を作成し、就職希望生徒に職業適性検査・職業レディネステストを実施します。
- ③ 成田公共職業安定所（ハローワーク成田）に行き、相談票をもとに生徒、保護者、職安担当で職業相談を実施します。
- ④ 職場見学、職場実習の実施
- ⑤ 希望する職場が決定したら、書類が学校から職安に送られます。職安は書類をまとめて各事業所に送ります。事業所はこの書類をもとに、入社選考を行います。

### (3) 就職関係の留意点

#### ① 縁故関係

中学校卒業予定者の就職は、原則として職安を通すことになっています。職安を通していないと、約束が違っていても苦情が言いにくかったり、時間外の雑用や家事などをやらされる場合もあります。縁故の場合でも、『予約済み』という形で、求人を職安に出してほしいと思います。

また、縁故による就職は保護者が決めたところが多く、本人の希望と合わなかったり、事業主も頼まれたから雇うということで、問題を残すことも少なくありません。

#### ② 労働条件の確保

長く働くために、様々な労働条件を確認してください。たとえば、定時制高校に通いたいが許可してもらえるかなどです。

#### ③ 第2希望としての就職

「高校がだめだったら就職」などとまれに耳にすることがありますが、その旨を事業所に知らせ、了承を得ることが大切です。すべての事業所が高校の発表まで待ってくれるわけではないので、第2希望者はその分門戸が狭くなります。また、第2希望で事業所を探すことができた場合でも、いざその時になると「やっぱり行かない…」と事業所の好意を無にってしまう例もあります。担任を含め慎重に話し合いを進めてください。

## 9 学習について

入試には、1・2・3年生の学習内容が出題されます。早い段階から1年間の見通しをもって着実に取り組むことが大切です。

### (1) 授業で勝負

授業内容は学力づくりの土台（基礎）です。どの教科にも一生懸命取り組むことが大切です。授業で学習したことを修得するために、その日のうちに必ず復習しておきましょう。

### (2) 家庭学習（受験勉強）の充実

- ① 3年生の学習内容は授業で100%身につけるために、予習・復習を毎日の習慣にしましょう。特に復習が大切です。

**予習** 最低限次回の授業分を、教科書でざっと目を通す。

**復習** 整理（見直し）⇒⇒⇒教科書を読み返したり、ノートを整理したりする。

練習（反復と定着）⇒・授業中に習ったことの反復練習をする。

・教科書やワークで練習問題を解く。

- ② 3年間の総復習を、1年間の見通しをもって計画的に、着実に進めましょう。

**夏休みまで⇒基礎学力充実・完成期** 1年からのワークをもう1度やりましょう。

- 1・2年生の復習は夏休みまでに一通り終わらせましょう。終わらせておかないと、秋以降の学習が苦しくなります。
- ワークは1度やっているのでも、できるところ、できないところが把握できます。できないところを重点にやり直します。わからないところは教科書などを見直しましょう。

**秋⇒応用力養成期** 教科書やワークの練習問題で力をつけましょう。

- 過去の定期テストの問題を解き直すのも、授業を思い出しやすいおすすめです。
- 入試の問題傾向に合わせた学習を進めるため、過去問は早い段階でやりましょう。
- 作文など、じっくりと力をつける必要がある課題にも取り組みます。

**冬休み以降⇒実戦力完成期** 入試レベルの問題に1問でも多くチャレンジしましょう。

- 答え合わせや解説を大切に、やったことは確実に身につけていくことが大切です。
- 苦手な教科や内容は、あせらず、じっくりと基礎の見直しを繰り返しましょう。

### (3) 計画的に、着実に実行するために

- 毎日決まった時刻に机に向かい、学習時刻・時間はできるだけ一定にしましょう。学校の時間割のように、1教科50分で日課表を作ると、能率や集中力が高まります。
- あれこれと色々な教材に手を出すのではなく、やるものを決めていつまでに、どこまで進めるのかを決めましょう。達成できたら何か自分にご褒美を考えておくと励みになるかもしれません。

間違えた問題や解き方が解らない問題は、友達や先生に聞きましょう。聞かれたらとことん教えてあげてください。教えるのはとてもいい勉強になります。その後、問題を自分の力でもう一度解き直して、出来たか確かめてみてください。

資料 1

# 令和5年度 卒業生の進路先

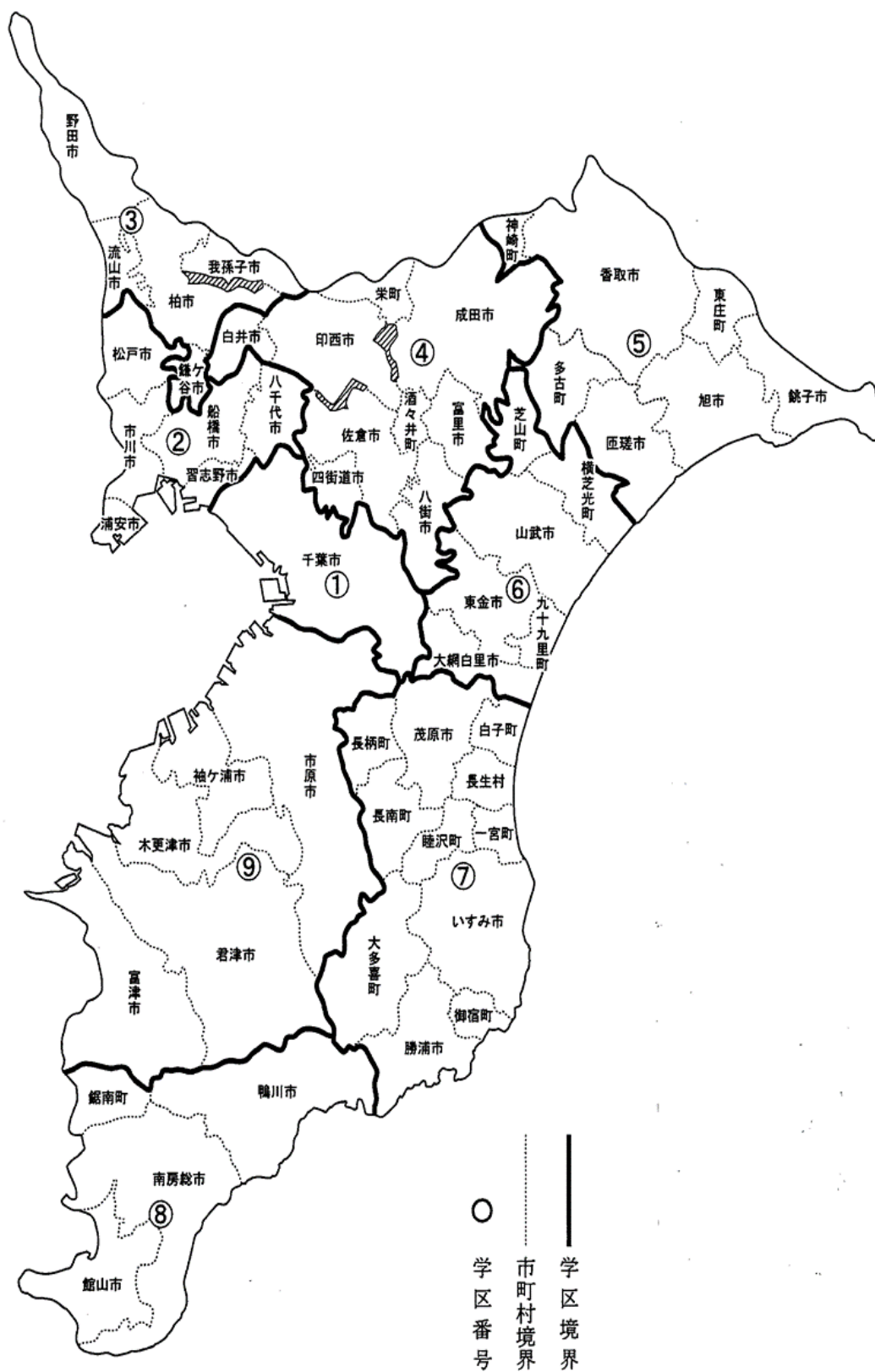
| 公立           | 男 | 女 | 合計 | 公立         | 男  | 女  | 合計  | 私立           | 男 | 女 | 合計 |
|--------------|---|---|----|------------|----|----|-----|--------------|---|---|----|
| 千葉女子（普通）     |   | 1 | 1  | 佐倉南（夜間）    |    | 1  | 1   | 市川           |   | 1 | 1  |
| 千葉女子（家政）     |   | 1 | 1  | 千葉大宮       |    | 1  | 1   | 千葉英和         | 2 | 1 | 3  |
| 千葉商業         | 1 | 4 | 5  | 秋田工業高等専門学校 | 1  |    | 1   | 千葉学芸         | 1 |   | 1  |
| 京葉工業（設備システム） | 1 |   | 1  |            |    |    |     | 千葉敬愛         | 5 | 4 | 9  |
| 千葉北          |   | 1 | 1  |            |    |    |     | 千葉経済         | 5 | 4 | 9  |
| 若松           | 1 | 5 | 6  |            |    |    |     | 千葉聖心         |   | 1 | 1  |
| 柏井           |   | 1 | 1  |            |    |    |     | 千葉明德         | 1 |   | 1  |
| 千城台          | 1 |   | 1  |            |    |    |     | 千葉黎明         | 3 | 1 | 4  |
| 幕張総合         |   | 2 | 2  |            |    |    |     | 中央学院         | 1 |   | 1  |
| 八千代          |   | 1 | 1  |            |    |    |     | 東京学館         | 5 | 9 | 14 |
| 実籾           |   | 1 | 1  |            |    |    |     | 東京学館船橋       |   | 2 | 2  |
| 船橋二和         | 1 |   | 1  |            |    |    |     | 八千代松陰        | 2 | 1 | 3  |
| 市川工業（建築）     | 1 |   | 1  |            |    |    |     | 和洋国府台女子      |   | 1 | 1  |
| 国府台          | 1 |   | 1  |            |    |    |     | 敬愛学園         | 1 | 1 | 2  |
| 我孫子東         |   | 1 | 1  |            |    |    |     | 秀明八千代        |   | 1 | 1  |
| 成田西陵（園芸）     | 1 |   | 1  |            |    |    |     | 昭和学院         | 1 |   | 1  |
| 成田西陵（土木造園）   | 2 |   | 2  |            |    |    |     | 成田           | 7 | 4 | 11 |
| 成田国際（普通）     | 5 | 2 | 7  |            |    |    |     | 東海大市原望洋      | 1 |   | 1  |
| 成田国際（国際）     |   | 2 | 2  |            |    |    |     | 東葉           | 1 |   | 1  |
| 成田北          | 1 | 3 | 4  |            |    |    |     | 土浦日大         | 1 |   | 1  |
| 下総（自動車）      | 1 |   | 1  |            |    |    |     | 浦和学院         | 1 |   | 1  |
| 富里           | 1 |   | 1  |            |    |    |     | 関東第一         | 1 |   | 1  |
| 佐倉           | 3 |   | 3  |            |    |    |     | 鹿島学園         | 1 | 2 | 3  |
| 佐倉東          | 2 | 5 | 7  |            |    |    |     | クラーク         | 1 |   | 1  |
| 佐倉西          |   | 2 | 2  |            |    |    |     | S 高校         |   | 1 | 1  |
| 八街           | 2 | 2 | 4  |            |    |    |     | 飛鳥未来         |   | 1 | 1  |
| 四街道          | 8 | 6 | 14 |            |    |    |     | あずさ第一        | 2 |   | 2  |
| 四街道北         |   | 4 | 4  | 公立高校       | 36 | 49 | 85  | 中央自動車        | 1 |   | 1  |
| 市立習志野        |   | 2 | 2  | 私立高校       | 47 | 35 | 82  | 野田鎌田         | 1 |   | 1  |
| 佐倉南（午前）      | 2 |   | 2  | 進路未定       |    | 2  | 2   | 明星           | 1 |   | 1  |
| 佐倉南（午後）      |   | 1 | 1  | 合計         | 83 | 86 | 169 | 多文化フリースクールちば | 1 |   | 1  |

## 資料 2 学区について

全日制普通科には通学区域があります。自分の住んでいる学区と隣接する学区にある高校の中から1校を選んで志望することになります。市立の場合は、市や学科によって区域が変わります。専門学科・総合学科は学区制限がなく、県立のどの高校でも受検できます。また、千葉女子高校、木更津東高校は全学区から受検することができます。

| 学区   | 所在市町村  | 出願可能学区         |
|------|--|----------------|
| 第1学区 | 千葉市  | 第1・2・4・6・7・9学区 |
| 第2学区 | 船橋市・習志野市・八千代市<br>市川市・松戸市・浦安市                     | 第1・2・3・4学区     |
| 第3学区 | 鎌ヶ谷市・我孫子市・柏市・流山市・野田市                             | 第2・3・4学区       |
| 第4学区 | 四街道市・八街市・佐倉市・酒々井町<br>富里市・白井市・成田市・栄町・印西市          | 第1・2・3・4・5・6学区 |
| 第5学区 | 多古町・神崎町・東庄町・銚子市<br>旭市・香取市・匝瑳市                    | 第4・5・6学区       |
| 第6学区 | 芝山町・東金市・大網白里市<br>九十九里町・山武市・横芝光町                  | 第1・4・5・6・7学区   |
| 第7学区 | 白子町・茂原市・長柄町・長生村・一宮町・睦沢町<br>長南町・いすみ市・御宿町・大多喜町・勝浦市 | 第1・6・7・8・9学区   |
| 第8学区 | 鋸南町・鴨川市・館山市・南房総市                                 | 第7・8・9学区       |
| 第9学区 | 木更津市・君津市・富津市・袖ヶ浦市・市原市                            | 第1・7・8・9学区     |

公立高校普通科 通学区域図



## 資料 3

## 調査書

様式1 (A4判縦長)

## 調 査 書

|                        |          |           |          |                      |         |    |      |       |     |      |
|------------------------|----------|-----------|----------|----------------------|---------|----|------|-------|-----|------|
| 受検番号                   | ふりがな     | 性別        | 学籍の記録    | 平成・令和 年 月 入学・転入学・編入学 |         |    |      |       |     |      |
| *                      | 氏 名      |           |          | 平成・令和 年 月 卒業見込み・卒業   |         |    |      |       |     |      |
| 教科<br>学年<br>教科の学習の記録   | 必修教科の評定  |           |          |                      |         |    |      |       |     |      |
|                        | 国語       | 社会        | 数学       | 理科                   | 音楽      | 美術 | 保健体育 | 技術・家庭 | 外国語 | 合計   |
|                        | 第1学年     |           |          |                      |         |    |      |       |     |      |
|                        | 第2学年     |           |          |                      |         |    |      |       |     |      |
|                        | 第3学年     |           |          |                      |         |    |      |       |     |      |
|                        | 全学年の計    |           |          |                      |         |    |      |       |     |      |
|                        | 備考       |           |          |                      |         |    |      |       |     |      |
| 総合的<br>学習の<br>記録       | 第1学年     |           |          |                      |         |    |      |       |     |      |
|                        | 第2学年     |           |          |                      |         |    |      |       |     |      |
|                        | 第3学年     |           |          |                      |         |    |      |       |     |      |
| 出欠の記録                  | 学年       | 欠席日数      | 欠席の主な理由等 |                      |         |    |      |       |     |      |
|                        | 第1学年     |           |          |                      |         |    |      |       |     |      |
|                        | 第2学年     |           |          |                      |         |    |      |       |     |      |
|                        | 第3学年     |           |          |                      |         |    |      |       |     |      |
| 行動の記録<br>(第3学年)        | 基本的な生活習慣 | 健康・体力の向上  | 自主・自律    | 責任感                  | 創意工夫    |    |      |       |     |      |
|                        | 思いやり・協力  | 生命尊重・自然愛護 | 勤労・奉仕    | 公正・公平                | 公共心・公德心 |    |      |       |     |      |
| 特別<br>活動の<br>記録        | 学級活動     |           |          |                      |         |    |      |       |     |      |
|                        | 生徒会活動    |           |          |                      |         |    |      |       |     |      |
|                        | 学校行事     |           |          |                      |         |    |      |       |     |      |
| 部活動の記録                 |          |           |          |                      |         |    |      |       |     |      |
| 特記事項                   |          |           |          |                      |         |    |      |       |     |      |
| 総合<br>所見               |          |           |          |                      |         |    |      |       |     |      |
| 本書の記載事項に誤りがないことを証明します。 |          |           |          |                      |         |    |      |       |     |      |
| 令和 年 月 日               |          |           |          |                      |         |    |      |       |     | 中学校長 |
| 記載責任者 職 氏名             |          |           |          |                      |         |    |      |       |     | 印    |



高校生等・保護者の方々へ



## 高校生等奨学給付金

～奨学のための給付金～

### 高校等の教育費を支援します！

- 教科書費、教材費など、授業料以外の教育費を支援する  
**返還不要の給付金**です。
- **生活保護世帯、住民税所得割が非課税の世帯**が対象です。  
※ **家計が急変して非課税相当になった世帯**も対象になります。
- **学校またはお住まいの都道府県**への申し込みが必要です。  
※ 授業料支援の高等学校等就学支援金とは別々に申し込みが必要です。
- **新入生**は、4～6月に**一部早期支給**の申請ができます。  
※ 都道府県によって実施状況が異なります。

#### 令和5年度の給付額

| 世帯状況  | 給付額（年額）  |          |
|---|----------|----------|
|   | 国公立      | 私立       |
| 生活保護受給世帯【全日制等・通信制】                          | 32,300円  | 52,600円  |
| 非課税世帯【全日制等】（第1子）                            | 117,100円 | 137,600円 |
| 非課税世帯【全日制等】（第2子以降）<br>※15歳以上23歳未満の兄弟姉妹がいる場合 | 143,700円 | 152,000円 |
| 非課税世帯【通信制・専攻科】                              | 50,500円  | 52,100円  |

※家計急変の場合は、申込み月によって給付額が変わります。



詳しくは、学校またはお住まいの都道府県にお問い合わせください。

文部科学省のwebサイトに都道府県のお問合せ先などを掲載しています。

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/mushouka/detail/1353842.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/mushouka/detail/1353842.htm)



学びたいキミを応援します。

大切なお知らせです。  
必ず保護者に渡してください。

みんなに知ってほしい

# 高校生への2つの支援

返還不要の支援です。それぞれ申込みが必要です。

## ① 高等学校等就学支援金

国の授業料支援のしくみです。

 年収約910万円未満の世帯が対象

学校種：高等学校、特別支援学校（高等部）、高等専門学校（1～3年生）、専修学校（高等課程）など


 申込みは、学校へ 入学時の4月 など手続きが必要な時期に学校から案内があります。

## ② 高校生等奨学給付金

教科書費・教材費など、  
授業料以外の教育費支援のしくみです。

 生活保護世帯、年収約270万円未満（住民税所得割非課税）の世帯が対象


学校種：高等学校等就学支援金の対象校と高校の専攻科（特別支援学校は「特別支援教育就学奨励費」の支援があります）

 申込みは、学校またはお住まいの都道府県へ  
毎年7月頃に手続きが必要です。詳しくは学校またはお住まいの都道府県にお問合せください。

都道府県の  
お問合せ先



[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/mushouka/detail/1353842.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/mushouka/detail/1353842.htm)

 **新入生**は、4～6月に一部早期支給の申請ができます。

都道府県によって実施状況が異なります。

### 参考：保護者等の年収目安と支給額（令和5年度）

| 保護者等の年収目安    | 両方利用できます！ |            |            |          |
|--------------|-----------|------------|------------|----------|
|              | 約270万円未満  | 約270～590万円 | 約590～910万円 | 約910万円以上 |
| ① 高等学校等就学支援金 | 国公立：約12万円 |            |            |          |
|              | 私立：約40万円  |            | 私立：約12万円   |          |
| ② 高校生等奨学給付金  | 約3～15万円   |            |            |          |



「学びたい」をあきらめないで。


# 家計急変した高校生への支援

離職、倒産等による減収などで家計が急変した世帯の方は、[国やお住いの都道府県の支援](#)が受けられます。


それぞれ[申し込みが必要](#)です。

## ① 高等学校等就学支援金 家計急変支援制度

国の授業料支援のしくみです。  
※令和5年4月から実施

 家計急変事由（負傷・疾病で就労困難、自己の責めに帰することのできない理由での離職等）が発生し、世帯年収が約590万円未満相当まで減少した世帯が対象

学校種：高等学校、特別支援学校（高等部）、高等専門学校（1～3年生）、専修学校（高等課程）など

 お問合せ・申込みは、[学校へ](#)  
※家計急変支援リーフレットもご参照ください。


文科省  
家計急変支援  
制度サイト




[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/mushouka/01754.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/mushouka/01754.html)

## ② 高校生等奨学給付金

教科書費・教材費など、  
授業料以外の教育費支援のしくみです。

 年収約270万円未満相当（住民税所得割非課税相当）になった世帯が対象

学校種：高等学校等就学支援金の対象校と高校の専攻科（特別支援学校は「特別支援教育就学奨励費」の支援があります）

 お問合せ・申込みは、[学校またはお住いの都道府県へ](#)


都道府県の  
お問合せ先




[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/mushouka/detail/1353842.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/mushouka/detail/1353842.htm)

## ③ 授業料軽減

都道府県独自の授業料支援のしくみです。

 お住いの都道府県が定める要件に該当する方が対象  
※都道府県によって実施状況が異なります。

学校種：高等学校のほか、各都道府県が定める学校種が対象

 お問合せ・申込みは、[学校またはお住いの都道府県へ](#)

都道府県の  
お問合せ先

公立



私立



公立

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/mushouka/mext\\_01240.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/mushouka/mext_01240.html)

私立

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/mushouka/mext\\_01241.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/mushouka/mext_01241.html)

中学校3年生・保護者の皆様へ…

## 千葉県私立高校保護者の 負担軽減・支援に関するお知らせ

＝令和4(2022)年度版＝

### 就学支援金

国の制度



私立高校に在学する生徒に  
就学支援金が助成されます。

### 授業料減免制度 入学金軽減制度

千葉県の制度



保護者の授業料負担を  
軽減するための制度です。

### 奨学のための給付金

千葉県の制度

経済的な理由により  
教育費負担が厳しい世帯に  
給付金を支給します。

### 奨学金

千葉県の制度



私立高校生が利用できる  
奨学金制度です。



千葉県私立中学高等学校協会



## ① 就学支援金（国の制度）

令和2年4月より就学支援金制度が拡充され、私立高校授業料が実質無償化となります。

### 〈全日制課程〉

| 判定基準※2                | 年収の目安※1       | 就学支援金<br>支給額(月額) |         |
|-----------------------|---------------|------------------|---------|
| 154,500円未満            | 0円～約590万円     | 上 限              | 33,000円 |
| 154,500円以上、304,200円未満 | 約590万円～約910万円 | 基本額              | 9,900円  |
| 304,200円以上            | 約910万円以上      | 対象外              |         |

〈通信制課程〉(単位制授業料の場合)※学校により、全日制課程と同様に支給される場合があります。

1単位ごとに4,812円が支給されます。(1単位あたりの支給額÷履修期間×登録単位数(年間30単位まで))  
公立通信制高校同様に年間30単位まで、卒業までの通算74単位が上限です。(なお、新型コロナウイルス感染症の影響により令和3・4年度については、年間30単位までとする上限を廃止しています。)

| 判定基準※2                | 年収の目安※1       | 就学支援金<br>支給額(月額) |         |
|-----------------------|---------------|------------------|---------|
| 154,500円未満            | 0円～約590万円     | 上 限              | 12,030円 |
| 154,500円以上、304,200円未満 | 約590万円～約910万円 | 基本額              | 4,812円  |
| 304,200円以上            | 約910万円以上      | 対象外              |         |

※1 年収の目安は、4人家族世帯の概ねの目安です。

※2 判定基準計算式:市区町村民税課税標準額×6%－市区町村民税調整控除額(政令指定都市の場合は「調整控除額」に3/4を乗じて計算します。)

○保護者等の所得などは、マイナンバーカード制度による情報連携や課税証明書(市町村役所で発行)などで確認します。

○支給額は、1ヶ月あたりの上限額です。授業料が支給額を下回る場合は、支給額＝授業料(月額)となります。

○私立高等学校入学後に学校を通じて申請します。

## ② 授業料減免制度（千葉県の制度）

千葉県では、私立高等学校に在学する生徒を対象に、保護者の授業料負担軽減のため、授業料の全額または一部(2/3)を補助する制度があります。(返済する必要はありません。)

千葉県外の私立高等学校に在学している生徒は、対象になりません。

授業料減免制度の申請は、私立高等学校入学後に申請します。

| 保護者の経済的な状況  | 年収の目安         | 補 助 限 度                                  |
|---|---------------|--|
| ①生活保護を受給されている世帯<br>②市区町村民税課税標準額×6%－市区町村民税調整控除額が175,500円未満 | 0円～約640万円     | 月額授業料から就学支援金を除いた額                        |
| ③市区町村民税課税標準額×6%－市区町村民税調整控除額が、175,500円以上、227,100円未満        | 約640万円～約750万円 | 月額授業料の2/3(ただし、20,100円を上限とする)から就学支援金を除いた額 |

※保護者等の所得などは、マイナンバーカードの写しや、課税証明書(市町村役所で発行)などで確認します。

## ①+②国と千葉県の支援事業の概要

| 対象者<br>世帯年収(保護者合算額)により支援 | 支援金額(月額)          |                     |               |
|--------------------------|-------------------|---------------------|---------------|
| 世帯年収程度額(目安)              | 就学支援金制度<br>(国制度)① | 授業料減免制度<br>(千葉県制度)② | 総支援額<br>(①+②) |
| 約590万円未満                 | 33,000円           | 就学支援金を除いた<br>授業料全額  | 授業料全額         |
| 約590万円～約640万円未満          | 9,900円            |                     |               |
| 約640万円～約750万円未満          |                   | 10,200円             | 上限20,100円     |
| 約750万円～約910万円未満          |                   | 0円                  | 9,900円        |
| 約910万円以上                 | 0円                | 0円                  | 0円            |



## ①+②申請の流れ 高校等に入学後申請が必要です。

申請の具体的な方法は、学校を通してご案内します。

- 申請後、高校等での確認や千葉県での審査を経て、就学支援金や授業料減免補助金が学校へ交付されます。
- 就学支援金・授業料減免補助金は、生徒本人や保護者等の方は直接受け取れません。  
学校が生徒や保護者等の方に代わって受け取り、授業料と相殺します。
- なお学校によって、一旦授業料を納め、後日返還する場合がありますので、詳細は学校に直接お問合せください。

## 入学金軽減制度（千葉県の制度）

千葉県では、私立高等学校に在学する生徒を対象に、保護者の経済的な理由により入学金の納入が困難な場合に、入学金を軽減(入学後に還付)する制度があります。(返済する必要はありません。)

千葉県外の私立高等学校に在学している生徒は、対象になりません。

入学金軽減制度は、私立高等学校入学後に申請します。

| 保護者の経済的な状況   | 年収の目安     | 入学金補助額              |
|--|-----------|---------------------|
| ①生活保護を受給されている世帯<br>②市区町村民税課税標準額×6%－市区町村民税調整<br>控除額が51,300円未満 | 0円～約350万円 | 入学金全額補助<br>(上限15万円) |

※保護者等の所得などは、マイナンバーカードの写しや、課税証明書(市町村役所で発行)などで確認します。



## 奨学のための給付金（千葉県の制度）

保護者等の道府県民税所得割及び市町村民税所得割が非課税、又は生活保護受給世帯の授業料以外の教育費負担を軽減するため、奨学のための給付金制度があります。保護者等が、千葉県内在住が要件となります。

| 支給区分                                      |  | 支給額(年額)  |
|---|--|----------|
| 生活保護(生業扶助)を受給されている世帯の高校生等(専攻科に通う高校生等は除く。) |  | 52,600円  |
| 保護者等の道府県民税所得割及び市町村民税所得割が非課税である世帯の高校生等     | (1)以下の(2)～(5)を除く全日制・定時制の高校生等   | 134,600円 |
|   | 当該世帯に扶養されている<br>(2)全日制・定時制の私立高等学校等に在籍している兄弟姉妹がいる第2子以降の全日制・定時制の高校生等<br>(3)全日制・定時制の国公立高等学校等に在籍している兄弟姉妹がいて、私立高等学校等に在籍している高校生等の中で最年長ではない全日制・定時制の高校生等<br>(4)通信制・専攻科の高等学校等に在籍している兄弟姉妹がいる全日制・定時制の高校生等<br>(5)高等学校等に在籍していない15歳以上23歳未満の兄弟姉妹がいる全日制・定時制の高校生等 | 152,000円 |
|   | (6)通信制・専攻科の高校生等  | 52,100円  |
|   |  |          |
|   |  |          |

## 奨学金

私立高校生も利用できる、千葉県の奨学金制度です。

奨学金は、本人が高校を卒業後、定められた期間で返済を要します。

大学等へ進学した場合の在学期間の返済猶予制度もあります。

千葉県奨学金は、私立高校入学後に申請しますが、高校進学のため中学校3年生時に奨学金を予約する制度もあります。

千葉県奨学金以外に、学校独自の奨学金制度や特待生制度を設けている私立学校がありますので、各学校にお問い合わせください。

| 名 称      | 千 葉 県 奨 学 資 金  |
|----------|--|
| 実 施      | 千葉県教育委員会（教育庁財務課）   |
| 問 合 せ 先  | ☎043 (223) 4027  |
| 補助(貸付)月額 | 10,000円・20,000円・30,000円から選択  |
| 対 象 者    | 居 住 要 件 保護者が県内在住   |
|          | 成 績 要 件 なし   |
|          | 収 入 要 件<br>※親族者全員の収入<br>(参考)4人世帯 給与所得の世帯=約735万円以下 給与所得以外の世帯=約340万円以下                       |
|          | そ の 他 の 要 件<br>・修学意欲があり、性行が正しい者<br>・母子・父子・寡婦福祉法に基づく修学に必要な資金の貸付を受けていない者<br>・経済的理由により修学が困難な者 |

### 私立高校保護者の負担軽減に関するお知らせ掲載のホームページ

#### □千葉県の修学援助制度

<http://www.pref.chiba.lg.jp/>

(千葉県ホーム>教育>私立学校>学費等の助成制度)

#### □千葉県教育委員会

<http://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/>

(千葉県教育委員会ホーム>財務課>奨学金・就学援助)

#### □千葉県私立中学高等学校協会

<http://chibashigaku.jp/>

(千葉県私立中学高等学校協会ホーム>奨学金制度)

